



豊かさに質と心を

1986-87

2

世界を結ぶ まごころ奉仕！

WE SERVE

ライオンズクラブ国際協会

333-C 地区ニュース





豊かさに質と心を



左から ACT委員長 ライオネス 鈴木 操
会長 ライオネス 伊賀京子
幹事 ライオネス 川合久恵
PR委員長 L.高尾競一



館山ライオネスクラブ 活動状況についての ・座・談・会・

例会のホームグラウンドは「レストラン鏡軒」となっています。7月の例会は前年度の役員慰労会もありますのでシーサイドホテルで行いました。

▶P 今、メンバーは何名位ですか。

▶会長 19名です。

▶P 或るネスのメンバーの方からちょっとお聞きしたことですが、「館山駅前ロータリーの草取り作業は、午前5時から始める」って本当ですか？ 一家の主婦たちが、夏場の日中の暑さを避けるとは言え、朝の5時前に起きての奉仕作業、実は私も大変驚いています。それにもしても「一人一人の気持ちがしっかりと合って、しかも努力という二文字がないと、なかなか出来ることではない。」と話を聞いた訳ですが……

▶ACT委員長 これは全く思いがけ

▶P ネスクラブの結成はいつ頃ですか。

▶会長 結成は1979年の2月22日です。チャーターナイトは、1979年の4月29日でした。良いお天気で幸いだったことを覚えています。

ネスは、ライオンズの月二回の例会よりも少なく、月一回で第二火曜日に行っており、7月～9月は午後7時から、10月～6月までは12時30分から。しかし毎年同じではなく、流動的となっています。年度の初めに理事会に計り、決めて行く方法です。「今年も同じように進めて行きましょう。」と。

すこう言う事になったのです。過去7年間の実績を、皆さん一人一人が自覚していらっしゃるように思うんです。ここまで来るには、いろんな事を乗り越えて来たものと、皆さんもそう感じていると思います。こう言う事が、一番素晴らしいことだと痛感します。

図らずも、本当にメンバーの方々が「そうしましょ。」とおっしゃって下さったのです。決してACTメンバーが指示した訳ではありませんよ。やはり夏は体にも大変きついし、とても暑いので「たまには朝早く起きてやりましょ。」とその一言があって「賛成」の声となり、このような結果となった訳です。

▶P ほとんどの方が主婦で、時間を切られてのアクトを行い、終ってから家の仕事、そして食事をして……と言うように仕事の連続となっているのです。そこには、やはり「努力」という文字が付きませんと、なかなか出来るものではないと思います。この事について私も感銘を受けた訳です。ライオンズのメンバーの一人として、自分自身の仕事の中でなかなかアクトを続けて行くと言うことは、大変な努力だなあと思っている訳で、その努力を、ライオンズメンバーは当り前の事なのですが、ネスの方々もそう言う風な、男にはわからないような数々の煩雑さを乗り越えてなさっていると言うこと



豊かさに質と心を

館山の顔でもある 駅前ロータリーの清掃作業は 温かい顔でもある——。 夏季は朝五時からの労力 ACT

は、これはやはり「地区ニュース」の中にただ写真を載せ簡単なメッセージと言うのではなく、もう少し内容を克明に、クラブ活動に至るまで入れて行く方が有意義ではないか。それがひいては他クラブにも波及してわかっているだけなら、もっともっと素晴らしいネスクラブの活動が、これからも期待出来るのではないかと、こんな風に私は感じたのです。

▶ P どうですか、今年度は。過去7年のアクトの中での内容について、簡単にお話を伺いたいのですが。年間を通じては……

▶ ACT委員長 最初から六つ位あったのです。それは今でもずっと立派に継続しています。一つは、「光の子学園」の後援会への参加です。後援会費として二口入っています。二つ目に、館山駅前のロータリーの草取り作業。三つ目に、主婦ですから、財布の中に入っている一円玉を持ち寄っての募金活動。何かに役立っています。四つ目に古切手の収集です。以上をネスメンバーの年間アクトとして行っています。後はライオンズクラブの活動に対して、私達の労力アクトとしてのお手伝いでしょうか。またライオンズ奉仕デーの作業奉仕に参加協力。その他、クラブが何かを行う時にお手伝いすることですね。このような内容です。

改めて行うことは、殆んどありませんね。昨年はゾーンの方のライオンズクラブの計画で、チャリティバザーをして下さったので、お手伝いすることになりました。今まででは、アクトと言うのは、本当はアクティビティの獲

得をして活動をすることですが、私達はなかなかメンバーが20名前後と言うことで、行事を独自に獲得するのはなかなか難しいのですが、昨年は図らずもACT資金を獲得出来ましたよ。

こういう計画実行の利点は、地元との「ふれ合い」でしょうか。バザーを行いますと、お買物に来て下さいますから、地域とのふれ合いがうまく出来ます。これは、とても良かったなあと思います。ただもっと欲を言えば、年に2回計画して下さると、資金的にも楽なのですね。こういう事は、独自では活動出来ないので大変に助かることです。

▶ 会長 各クラブではバザーがあるようですが……。夫が館山LCに所属していた頃、よく品物を持って行ったように思います。ネスクラブ内では行いませんので、合同バザーに参加させてもらい、私達は当日売り子として頑張りました。出品と労力奉仕を同時に行った訳ですね。出品は自分達一人一人がしましたが、他に和紙で作った小物なども出品しました。

▶ P ACT委員長さんのおっしゃった六つあるアクトの中で、実際に体を動かしての労力奉仕をするロータリーの草取りは、8年間も続いているそうですが、そう簡単にうまく出来ないものですが、皆さんのが心を一つにしてお集まりいただきて作業を行うことは、それぞれの家庭のご用がある中で、しかも気を揃えて行う事は大変なことだろうと思います。恐らく皆さん方の奉仕の姿は、館山市民どなたからも、言葉には表わしませんが「感じのよいこ

とだ。」と言われる方が多いのではないだろうかと言う気がします。

この先何年も頑張って下さい。何と言っても館山駅は街の玄関ですし、観光客からしますと、駅を降りてすぐ目前の大きな椰子や花を見、「あーきれいだなあ。」と温かを感じて下されば、どんなにか素晴らしいことかと思います。それが、雑草や手入れがされてなくてきたない物が目について、その土地に住んでいる人達の美的感覚を疑われるようでは困るので、清掃を率先して行っていることは大変なご努力だと思います。他の継続アクトについては?

▶ ACT委員長 「光の子学園」のバザーの後援です。毎年5月に行うので、それまでの期間にいろんな作品を作るのです。大変癡ったものが好評で、大層な売れ行きなのです。皆さんも大変期待して下さっているようです。

学園の方から準備された材料を作品にするお手伝いですが、なかなかセンスのいい小物や身の回りの品々で手間が大変かかるのですよ。

バザー作品用の ぬい物は家に持ち 帰って、間を見て 作り上げてゆく。

▶ P 「光の子学園」はどこにあるですか。

▶ 会長 館山市洲の宮です。

▶ P どんな子供達の学園ですか。

▶ 会長 近松先生が私財を投じて、めぐまれない子供達を何人かの先生方と共に面倒を見ているのです。小学生から高校生までの男女33人位を学ばせ、生活をしている学園です。

公の援助も少ないので、後援会を作つて会員募集し、これを資金にして生活・教育、その他いろいろな諸経費に充てています。

▶ P 家事や他の仕事の合い間にも、



豊かさに質と心を



この様な仕事をしていらっしゃるんですね。あとは?

▶会長 8月の夏休みにレオクラブ活動が館山で行われたので、最後の日の昼食づくりのお手伝いをしました。

▶P 私も参りましたよ。

▶会長 鉄板焼の材料の買い出しから始まり、地曳網に入った小魚のからあげを作りました。少し固い御飯は、急速焼飯にしたり大変でした。

▶P 館山LC(親クラブ)のアクトに対して、側面から皆さんがご協力下さっているような事が会として非常に多いですね。ネスクラブ独自の仕事をされ、その上に親クラブのお手伝いがプラスされている訳ですから大変ですね。

最後に、皆さんに一言ずつお伺いしたいのですが。8年前館山にネスクラブを作って良かった点についてお願ひします。

▶幹事 私が新潟から引越して来て間もない頃入会を勧められましたので大変躊躇いたしまして、最初は緊張して出かけて行った事を覚えております。どなたも知らず心細かったのですが、今では一度に多勢の友人ができて本当に良かったと思っております。

メンバーの年齢も幅広く房州の女性の考え方や習慣など奉仕活動をやりながら教えていただいております。

主人も親クラブのメンバーですので

クラブ活動の他に 楽しい集いとして お稽古事・カラオケ・なつかしい歌 など、心を開いた会をもっている。

活動状況が理解でき、共にライオニズムを育むことができるという点でライオネスクラブを作っていた大変な思いです。

ただ三役になりますと忙しく、とにかく一年間は頑張らなくてはと張りつめた気持ちになりますね。

▶会長 ネスの中でも親子程年の差のある会員もおられて(25才も若い方)、片寄らない点が良かったと思いますよ。子供のPTAだと、その学区間のつき合いになりますが、広い地域から集まつた会員だと、市内全域の方々と交流が出来ますから、普段つき合えない方でも、会に入っているお蔭で口をきくようになりました。難点は“お勉強をしなければいけない”と言うことでしょう。

一年で役員が替わると言うことは、本当に変え難い利点があると思います。

二年前から心の準備をして、一年間役員の姿をちらちら見て、いざなってから一年間頑張ろうと思っても、あはら骨が一本足りなくて全力投球が出来なくてね。一年交替の利点は、皆さんのが代わる代わるやれること。アイディアも多くなるし、意気込みも違うことでしょう。

▶ACT委員長 19名の中で三役をやらないのは3名位でしょうか。皆さんが大変だなあと言うことがわかっているので、気をそろえて出来るような会で、出席率も大変によく、全てスムーズに運びます。皆さんの為にも続けていかなければと考えています。

▶P 共通した点は「主婦である」と言うことだと思うのですが、職業も年令もほとんど違っている方々の集合体ですから、そういう意味では、ライオニズム・ネスクラブ共々広い意味での知識を自分のものとして得られることは非常にすばらしい事だと思います。仕事の中でお互いに相談が出来ることで、様々な便利をしていると思います。

▶会長 主婦が家庭の中でのものではなく、いろんなメンバーの奥さんとお蔭様でおつき合いが出来るのですから楽しいですね。メンバーの中にはお花とかお茶とか、器用な方は和紙を使った小物作りなど、多彩な先生がいらっしゃるので、お互いの教養が高められることや、又カラオケや歌もね。皆さんで稽古をしています。

▶P 終り近くになって楽しいお話をしましたが、この位で締め切りたいと思います。お忙しい所大変ありがとうございました。

~~~~~  
【座談会】 9月28日(日)  
2時より1時間  
喫茶「ねむ」にて

【出席者】  
館山ライオネスクラブ  
ライオネス会長 伊賀京子  
ライオネス幹事 川合久恵  
ライオネスアクト委員長 鈴木 操  
PR情報委員長 高尾競一  
地区ニュース編集委員 青木芳政



豊かさに質と心を



## ZCの 活躍に期待する！

333-C 地区  
ガバナー

L. 平 井 勇  
(館山ライオンズクラブ)

地区的繁栄は、その結合体である各単一クラブが健全であるか否かにかかっています。さればこそ、ライオンズクラブ国際協会においては、ガバナー制度の根幹として、公式訪問による指導に重点を置き、クラブの実態を正確に見極めて育成強化することを義務付けています。然し乍ら年一回きりの訪問だけでは充分なる把握の出来る筈も無く、クラブ行事や周年式典等へ出席して出来るだけの接觸を図って見ても、直接指導の機会は極めて少なく、ましてや多忙を極めるガバナー実務の日程では、思うに任せぬのが現状であります。そこで本年度は、地区組織をフルに活用して、各クラブとキャビネットとの連繋をより密接にするため、DDGを督促して、第一線の地区役員でもあるZC各位の全面的な協力を仰ぐことと致しました。

ZCの職務は洵に骨の折れる仕組であります。ZCは管下各クラブの動向を的確に把握して適切な指導を行い、その活動を活達ならしめるために、常に使僕となって挺身これ努めなければなりません。謂わば、踏まれても千切られても尚芽を吹く雑草の如く、逞しくクラブ育成につくす責任があります。更にまたZCは、会員及びクラブのパイプ役となって、キャビネットに連結させる重大任務を負わされています。此のパイプだけが、諮問に應え意見具申の機関として、ガバナーに直結することを深く理解し、負託を果たして戴きたいのであります。

ZCは、各クラブの例会・理事会を数多く訪問して、実情に即した指導をすることから始まり、諮問委員長はもとより、ライオンズスクールの開催、テールツイスター及びライオンテーマ研修会等を企画実行して活性化を図るの外、各クラブ行事へ積極的に参加して融和と協調の精神を培うことも、大切な責務とされています。

ZCの職責は、此の様に真に息吐く暇もない程の激務であります。地区組織の機能の要としての自覚と信念とをもって御活躍下さるものと、大いに期待を寄せていく次第であります。



豊かさに質と心を



## 共に歩む人生を

ライオンズクラブ国際協会  
333-C 地区 前地区ガバナー

L. 橋口一夫  
(銚子ライオンズクラブ)

明治の文豪 森鷗外は「日本人はただ毎日を駆けぬける為に生き、常に人生はその先にあると考えている」と言っていた。その後百年近く過ぎた今、世の中は益々あわただしく、世知辛くなつて来ており、毎日を駆けぬけても、まだその先の人生は見えてこないと言う感じの今日この頃である。ただ走り続ける人生ではなく、時々は立ち止って人々と共に歩き、その時の人生を噛みしめてみる大切さを考えてはと思う。

社会生活は、登山グループに喻えてみる事が出来る。体力のない人、足の遅い人、経験の乏しい人を間にはさんで、全員がベースを合わせて進むのが登山である。初心者のかつぐ荷物が軽いからと言って、白い目で見られる事はない。それぞれが持っている長所を出し合って助け合い、そして喜びと苦労を分かち合いながら頂上を目指す。駆けていたのでは、息切れをして頂上を極める事は出来ないのである。

人間は形ではなく、心である。そして他人は己れの心の鏡である。人を憎むと、相手も自分を憎む。逆に人に好意を持てば、相手もこちらに好意をいただき、人に感謝すればこちらの心も安らぐ。「親切は人の為ではなく、自分の為にある。人生は行きずりではなく、出会いである。」

お互いに共感し合って、初めて私達の郷土は連帯感に結ばれた、住みよい社会となるであろう。



豊かさに質と心を

# ガバナー隨行 所感

8月23日 土曜日 晴ときどき曇

午後2時銚子を出発。第4R第1Z公式訪問会場 笹川鯉屋旅館へ。3時から地区役員・クラブ3役の打合せ会。4時定刻ガバナー公式訪問合同例会開会、プログラムに従って進行。無事和やかなうちに懇親会へ移行。利根河畔の涼風に送られて今夜の宿泊地の銚子へ。平井ガバナー一行を先導して吉川館に着く。若干の役員等でさゝやかな懇親会の席をつくる。話は尽きないが、明日の日程第2Z訪問もあるので早目に閉じ解散、第1日を終る。

8月24日 日曜日 快晴

午前8時、吉川館の客室に一行を訪ねる。既に朝食も終り雑談中。今日の日程を打合せる。午前中は銚子クラブ主催の、秋季少年野球大会第3日目の準決勝第1試合を観戦後、第2Z会場へ向うことに決める。9時吉川館を出発、銚子市営球場へ。クラブメンバーの出迎えを受けて本部室へ入る。第1試合観戦後、文化会館にて軽い昼食を済ませ、一同の見送りを受け銚子を出発。8月最後の日曜を楽しむ海水浴客でにぎわう飯岡海岸を左手に見て会場へ、飯岡海岸大潮に集う一同の出迎え

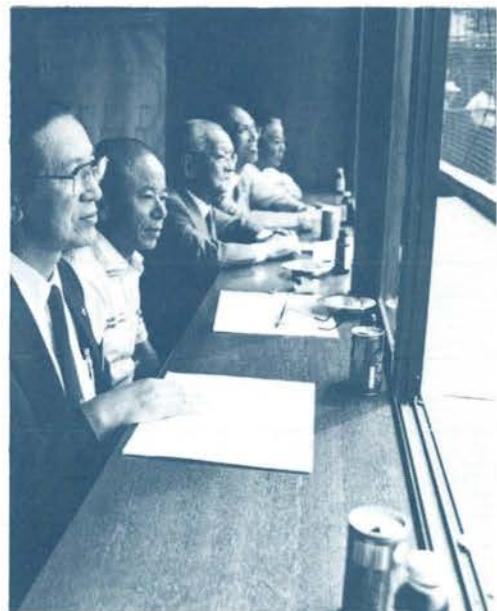
の中で入場する。ガバナーが挨拶の中で「私は昔流で言うならば、関八州取締役であり、地区内のクラブの活動状況の見巡りに来たのである。」と言われ、昨日が笹川で、今日が飯岡で、天保水滸伝の物語りを想い出す。午後5時頃所定の時間をオーバーしたが、第4R第1Z、第2Zの全ての行事を終えて、上山L運転の車は左折して一路館山へ。

此の2日間の行事を思う時、Zの役員、各クラブの諸兄、特にホストクラブの皆様に感謝申し上げます。

(昭和61年8月25日記)



第4R PR情報委員  
L. 宮川太三郎  
(銚子ライオンズクラブ)





豊かさに質と心を



## PR情報委員長

### L. 高尾 競一

(房州白浜ライオンズクラブ)

ガバナーのご依頼により、今度地区PR情報委員長をお引受けいたしましたが、現在その責任の重大さに胸の詰まる思いを致しております。然しお引き受け致した以上は、一年間平井ガバナーのご趣旨を体し如何にその職責を全うするか、現在大変腐心致しております。

#### 1. ライオニズムを社会全体に如何にPRするか

常日頃私は、単一のクラブに於ける奉仕活動が市町村民の人達から、どの様な形で見られ評価されているか、大変疑問を持っておりました。これの解決には、正確なライオニズム情報を広く全ゆる方面に対して広報することだと思います。その方法はいろいろあろうかと思いますが、例えばライオン誌・地区ニュース・クラブ会報等の配布をメンバーのみに限らず、広く市町村の役所・公民館・図書館・学校・会議所・駅・病院等人の集まる所に配布し、一人でも多くの人達に見て頂く様に努力しては如何でしょう。また報道関係者とのコミュニケーションとその活用も大変重要な事だと思っております。

#### 1. ライオンズマンとしての認識の高揚

“メンバー各人が果して正しいライオニズムを掌握しているであろうか”と言う単純な疑問だが、その様な感じがしてならないのです。なぜならば、退会者が意外に多いことです。

クラブ活動の中に於けるアクト及び諸行事に対するアレルギー・気恥しさ・嫌悪感等、色々の事が原因と思われます。元来ライオニズムとは、崇高な人道的奉仕の理想に専念すること、即ちメンバー一人一人が今一度原点に立って良く考えてみる事が必要と存じます。

#### 1. PR情報委員の職責について

PR情報委員はDDGの秘書でも運転手でもなく、立派な職務がある訳です。その地区・リジョン・クラブの広報官であり、官房長官である訳で、その地区・リジョン・クラブがどの様な立派なアクト・行事を催しても、広報官である情報委員が情報の提供を怠れば、世に出る事もなく埋もれてしまう訳です。すばらしいアクトを広く社会にPRする事によって、地区住民の共感を喚び起こし、その地域に良い波及効果を起こすこと、即ち「徳が徳を生む」譬えで、その地域に連鎖反応を生むことこそ真のライオニズム精神だと思います。

以上の様な訳で、平井キャビネットには私の外に7人の同志（PR情報委員）がおりますので、その方々と良く話し合って、この一年間、ライオニズムの高揚と平井キャビネットの成功に最大級の協力をして行きたいと存じております。333-C地区全メンバーのご協力を切にお願い申し上げます。





豊かさに質と心を



## 会則・会員・E X T 委員長

L. 小田 喜 潔

(館山中央ライオンズクラブ)

会則・会員・E X T 委員長の委嘱状を受けた時より、責任の重大さを感じています。もとより浅学非才の身であります。一ヶ月間一所懸命に努力いたしますので、333-C 地区の全クラブ員の皆様の絶大なご支援ご協力をお願い申し上げます。

第1回キャビネット会議で幹事報告にありました通り、333-C 地区内のクラブ現況は、1986年6月30日現在クラブ数81、会員数3601名、ライオネスクラブ数7、レオクラブ数4。上記数字に加えての増強を、皆様のご支援とご協力により目的達成いたしたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

国際協会会长ステン・A・アケスタム氏の提言にある如く、会員数を増大することにより「奉仕の規模も、質も拡大されよう」と言うものです。この意を汲んで、質の高い会員の増強と退会者防止、そして E X T 対策についても力を入れ、ライオンズクラブ発展と成長に寄与したいと思います。

E X T 対策については、今現在、新しいクラブを結成する地域的余裕は少ないが、県北地域の人口急増による密度の高い地域のクラブ員の方々の、特段のご配慮とご協力を是非お願い申し上げます。



## 視力聴力保護委員長

L. 野村 久治

(房総勝浦ライオンズクラブ)

1986~1987年度の視力聴力保護委員長をお引き受けすることになり、資料に目を通してその職務の重大さに、私ごとき者には荷が重すぎるような思いです。然しそんな事言ってはいられません。お引き受けした以上は他の人の何倍もの努力・勉強をしても、平井ガバナーの方針に添って期待に報いなければならないと覚悟しています。

視力聴力保護のアクティビティは、ライオンズクラブ全会員に課せられた任務であり、特に視力保護に関しては、1925年国際大会でのヘレン・ケラー女史の呼びかけに応えたものであり、以来60年、世界で実施される奉仕事業の30パーセントもがこの分野に属すると言われる程、多くのアクティビティを行なって来ました。時世が変わ

ればその価値の薄れるものもあるでしょうが、視力聴力保護に関し、長年に亘って実施されて来たアクティビティは、引き続き行なうことは勿論であります。政府機関で行なっている福祉業務も拡大されて参りました現在、ライオンズクラブとしては、不必要的重複は避け、各地域の実状にあった建設的な提案によって、新しいアクティビティを実施して行かなければならないと思います。

「我々は奉仕する」と云うライオンズのモットーは、個々の会員又はライオンズクラブが全人類の福祉に捧げる限りない努力を象徴するものであります。

1年間、皆様の御協力・御鞭撻の程を心よりお願い致します。



豊かさに質と心を



#### 私の努力目標

##### 1. レオクラブの充実

ライオネスクラブは所期の活動を行っていると思われますが、レオクラブの一部には、一段の努力が必要と考えられるものもある。那是正！

##### 2. レオ、ライオネスクラブの増加

#### 青少年対策(LEO・LS)委員長

### L. 茂田 正巳

(君津ライオンズクラブ)

他の地区に比べると非常に少ない為、キャビネット目標としてネス2クラブ、レオ3クラブ位の増強を達成！

##### 3. 高校生弁論大会の盛会を期待したいこと

毎年40名近い参加者が熱弁を振るって競うのですが、なにしろ聴衆の少ないことが問題となっている。ライオンズマンのご参加を心からお願いしたい。



#### 指導力開発委員長

### L. 高橋 異

(船橋ライオンズクラブ)

しながら現実となると、伸び悩んでいる会員の増強或いは退会者防止等であり、リーダーによって会員の維持・増強を図ることこそ最大の目的と考えます。従って私は他の関連委員会との連絡提携と、クラブ会長・幹事・各役員にお願いして、この目的達成に努力する所存です。皆様のご協力とご助力を切望いたします。

指導力開発委員会とは何をする委員会か、とよく聞かれますが、その目的は「ライオンズ国際協会が、今後の組織の強化と一層の発展を期する為に、地区ガバナーのリーダーシップを啓発し、クラブ運営の中心的役割りを務める会長や幹事各役員が強力かつ活発な、しかも優れたリーダーシップを發揮し、クラブメンバーの団結と地域社会に高い貢献をすることである」としています。然



#### 献血・献腎推進委員長

### L. 相川 清

(鴨川ライオンズクラブ)

ての疑問・ご不満がございましたならば、不肖私を初め関係ライオンうちそろって説明やお願いに参上いたします。

千葉県下81LC・7LSの皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、私の抱負といたします。

献血献腎推進委員長就任に当り、一言皆様にお願い致します。献血献腎の333-C地区における「アクト」、LC「アクト」と致しましては、最大のアクトであると信じますので、333-C地区全LC・全LSの方々の今後とも実のあるご協力をお願い致します。この件に対しまし



豊かさに質と心を



## 長期計画リサーチ委員長

L. 中村 清成

(八千代ライオンズクラブ)

当委員会は、「単年度のCAB行政を、長期的に地区運営ビジョンの中に、継続性と活性を齊等にしてゆく方途の探求をすること。」<L.北村前委員長>……

どんな必要にも応じようと言う気持ちでこの委嘱を受けて、何をすればよいのか、はっきりとした活動をしていないのが現状です。しかし本委員会の性格を考えてみると、名称の通りLC全般の組織運営のあらゆる面を検討して、キャビネットを補佐すると言う巾の広い活動が要求される重要な委員会である。更にACTの命題の精

神的文化的な面を追究するなど、本委員会の基本姿勢を語る。<複合長期計画リサーチ指導力開発委員長  
L.清水武男>

浅学非才な私には、現状を直視裁断し、ライオンズ将来の展望に立って問題把握に当たることは、あまりにも的が大き過ぎて焦点の定まらない間に埋没してしまうおそれがある。より多くのライオン達の英知と指導を請いながら勉強し、一粒の種ともなればと希っている。



## 薬害教育・福祉・環境保全委員長

L. 渡辺 榮二

(鋸南ライオンズクラブ)

今年8月号のライオン誌に、ステン・A・アケスタム国際会長の抱負が記載されていましたが、その一つに薬害教育のことを論じて、その是正に寄与しようと話していられた。世界中の青少年の生命が、薬害によって身体を触ばまれ、大切な命までも脅かされている事実は、重大かつ国際的視野の問題である。

「薬物中毒は、家庭を破壊し、社会をも乱す罪悪である」と指摘し、「薬害のない環境と美しい社会作りに、全力を挙げて取り組んで欲しい。」と提唱されています。

次に、成人病の一つである「糖尿病」に苦しんでいる

人達で、視力を失ったり身体の各機能を損った患者数は、なんと2億人を超え、まだ増え続けている現状である。現在の世界の死亡原因の第一位は糖尿病と言われています。糖尿病を根絶するための治療法のリサーチが急務であり、ライオンズクラブ国際財団では、世界中の糖尿病研究機関に百万ドルに上る援助を行なっている。私達は国際会長の心配するこれらの事実につき、重大な関心と決断をもって、全世界の人類の平和と幸福のために力を合せて頑張って行かなければならないと思っています。





豊かさに質と心を

# 國際交流編

# 四街道ボーイスカウト隊 アメリカへ行く！



▲ 帰国後、四街道市長室で全員揃っての記念写真

# 四街道ライオンズクラブ

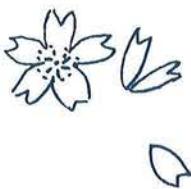
理市巖

今日本は諸外国との間に、貿易不均衡と言う経済問題を抱えている折しも、民間の国際交流はここ数年より盛んに拡大されている。青年にしろ少年にしろ、国際感覚の時とばかり、平和の為に友好の精神をもって行われている。

その一つに当るYE活動またボイイスカウト活動は、長い実績を誇る奉仕の輪である。ボイイスカウト「四街道隊」は、アメリカ合衆国カリフォルニア州リバモア市との交流を計った。とかく国と国との関係となると、様々な問題がからんで来ますが、民間交流となるとむしろ何の弊害もなく、積極的かつ友好的な状況となっている。相互理解と言う点では、末端の民間相互理解から、国と国との関係が眞の交流に変わってゆくことを切望したい。



豊かさに質と心を



# 米国リバモア市に 桜の プロムナード！



▲ 楠岡Lより、リバモアLCのメンバー  
AL・FUNK.Lにお金を渡しているところ。



▲ 記念樹に、リバモア市長の土かけ。  
同市のボーイスカウトの少年達のお手伝い。  
(後方の胸に日の丸の服は楠岡L)

リバモア市訪問の親善交流に対して、地元の議会や新聞など公的機関は、こぞってこの度の交流の意義とその友好の表現に対して、惜しみない称賛を贈ったこと。歓迎の表明も会議で決議され、採択されたとのこと。実にアメリカらしいお国柄であると思う。お互いの国民性と文化を学ぶことにより、子供達は融合し理解しようと言う心を自から見出すようになって、一つ大きく成長する事と思う。

千葉の地元新聞「千葉日報」の北総版にこの交流記事が記載され、市民の目にふれたことは何よりの成果であり、我々ライオンズマンとしても奉仕の意義を胸の奥深くに秘めて、継続の意志を誓う気持ちでいっぱいである。

第3R第1Zの四街道LCの楠岡巖Lの引率により、米国リバモア市のライオンズクラブを通じて、四街道市とリバモア市が姉妹提携して10周年を迎えることを機に友好の交歓会が米国リバモア市で行われ、出席しました。

楠岡Lが四街道LCで国際協調YE委員長の当時、四街道市のボーイスカウトの育成に努力され、第2梯団を作る際その団長となり、青少年の健全育成に尽力されて参りました。（これについては、四街道LCに於いても全面的に、物心両面の援助と応援をして参りました。）

このボーイスカウト21名を連れて、7月17日～24日までの8日間リバモア市を訪問し、ボーイスカウトの青少年は同市内でホームステイをし、楠岡Lは名誉団長として又LCメンバーとして先方LCと交歓。1日遅れで渡米した四街道LCのメンバーの齊藤悌市L（市長）とリバモア市長と相談の上、四街道市の市花である桜の樹を植えて、友好の桜並木を作ることに決め、植樹しようとしたのですが時期が悪いとの事で、1本だけを植えて贈呈式となりました。後は良い気候を見て、先方で植えていただく事にしてその場を去りました。

近い将来に、四街道LCが植えた桜の並木路を、市民の方々が気軽に散歩されることを夢みて、ひと時の安らぎを覚えました。このACTによって、四街道LCとリバモアLCそして両市の交流が一層深くなり、国際親善に大いに役立てたいと思います。またボーイスカウトの青少年達も国際親善と知識の向上に役立つように、青少年健全育成の意義に副えたものと思われます。

• ACT金額 ¥1,450,000

• 参加ライオン L.楠岡 巖, L.齊藤悌市



豊かさに質と心を

# 国際化への きざし (YEと共に)

L. 秋葉琢磨  
(八千代ライオンズクラブ)

## [はじめに]

YE受け入れの話が幹事報告の中にあった。気心の知れた3人で、何の相談もせず“受け入れよう”と言って手紙をキャビネットに送る。その間、説明会には全く出ず、ゾーンYEミーティングのみ宮本夫人と同席しただけだった。今回で八千代ライオンズクラブは、非公式を入れて6人のYEを受け入れている。その内5人にに対して小生は関与した。今まででは殆んど、閉鎖的にホスト側は受け入れていた。或いはそうせざるを得なかったかも知れない。

ライオンズクラブがインターナショナルであることは、誰でもが心得ている。しかしメンバーの多くはインターナショナルになっていない。ライオンズ必携に学ぶに、“YEをホスト家庭にまかせることなく、なるべく多くの会員にこのYE事業にもっと関心を持たせ、また参加させる。費用はホスト家庭及びホストクラブが負担する”と記述されている。この言葉を深く理解してもらう為、YE来日前にYE委員会を開催してもらい、そして同意を得る。

## [方針及び目的]

ホスト3者会談は特別せず、予定表記入のみであった。私としては、少しでも当クラブメンバーをインターナショナル化へ方向づける事を目的としたかった。キャビネットよりスーザンの紹介を受けると、直ちに手紙を書き、日本語及び日本についての知識を学習して来るよう指示した。彼女を世話することにより、その努力の結果によつては、次は私達が場合によつては彼女の島への訪問が出来、国際親善として当クラブ員及びファミリーもイ

ンターナショナルへと発展する夢が実現するだろう。自分の子供達だけを送ることだけを考え、受け入れへのギブ・アンド・テイクだけを計算していくは情けない。自らがインターナショナルに発展して欲しいと切望する。

スーザンの方針としては、日本の全ゆる事を、浅く広く見たり聞いたり試したりさせるため、オープンに大勢の人々を出来るだけ紹介し、日本人の心を理解させることにあった。そして大きな心を持った国際人へと発展してもらいたいと願った。

## [実施]

梅雨が全く明けてトロピカル・サマーとなり、暑い夏が始まった。空港には八千代LCメンバー及びファミリー17名が迎えに出てくれたが、大変混雑極まりなかった。

時差を考慮して少々休憩を与えた。そして又ハード・スケジュールの計画となった。即ちライオンズメンバー宅や工場訪問、3高校（柏井・成田西・八千代松蔭）、市役所及びその附近の付属施設など。15周年記念ライオンズ桜並木、東京訪問（NHK・国会・警視庁）、成田山新勝寺、ボーリング、ダンス、お茶・お花・書道の3大伝統芸術、ライオンズによるサマーキャンプ、江戸崎の夏まつり、各家庭でのウェルカム・ディナー、当院のディナーなどを開いた。他のホストにおいても同様に伝統的文化に接してもらい、日本の美と精神を少しでも学んでもらった。超現代表現のつくばEXPOにも2回、ディズニーランド、六本木のディスコ等にも行き、旅として鳥羽・奈良・京都・軽井沢への避暑、小湊での海水浴、八千代ふるさと祭りの花火大会と盛り沢山の毎日である。毎晩の様に11時から12時頃まで楽しみ、スーザンに始まり、スーザンに終った今年の夏であった。

成田国際空港では涙、涙、涙の彼女との別れは劇的すぎる程であった。こうしてコミュニケーションは深まり、心に一つ一つ刻印されて国際親善は果たされた。

## [結び]

成田空港でのスーザン及び八千代ライオンズ一行17名の出会いから、6週間のスタートは切られた。こんなに多い出迎えは初めてである。「バスでなくてよかった。」とは中学生K子の言葉である。私は空港で、彼女に対して価値ある言葉を放った。「スーザン、お前は八千代の



豊かさに質と心を

スターになる。多くの日本人を知れ！」と。そして私のテーマは「日本人の心を知れ」だった。心とはヒューマニティであると説明した。すなわち“郷に入ったら郷に従う”で、日本式の布団を選び、米（ライス）を選んだ。しかし彼女は生魚や米より、生野菜やハム・パンを好むグレアム島人だった。人柄は全てに積極的で、特に英語の出来ない子供達には抜群の人気者。幼稚園・小学校の先生向きの性格。犬や猫の吠え方やカナダ式遊びで、子供達の人気を取った。日本語はどうとうダメだった。多くの日本の友が英語で会話をする努力をした事にあるかも知れません。彼女にとって日本語は、とても頭痛の種であったが、生来の性格によってとてもラッキーであり、幸せに過ごせたシーズンでした。そして常にエキサイティングな日本での遊びであった。立派な国際人として自覚、発展して欲しい。どんな「ナイス・トゥー・エンジニアリング」になるだろう？ 彼女の記念すべき日本滞在のレポートをぜひ読んで欲しい。我々八千代ライオンズの全メンバーも、国際的人間になろう、いやならねばならぬ。“マスト ビー”である。

YE サマーにご協力下さったライオンズメンバー及びご家族、そして諸兄諸姉の皆様、特に子供達一同、そしてダイワ薬局の方々には、心より感謝いたします。

(60. 9. 2)

（本稿は昨年度のYE報告書に掲載すべきものでありましたが、図らずも洩れた為、地区ニュースへの転載となりました。）

#### 333-C地区に於けるクラブメンバー(在籍)数ベスト10

61.9.30現在

|         |      |   |           |     |
|---------|------|---|-----------|-----|
| 1位 銚子LC | 104名 | { | 6位 旭LC    | 73名 |
| 2〃 佐原LC | 93名  | { | 7〃 君津LC   | 69名 |
| 3〃 松戸LC | 76名  | { | 8〃 柏中央LC  | 68名 |
| 4〃 成田LC | 76名  | { | 9〃 柏LC    | 67名 |
| 5〃 千葉LC | 75名  | { | 10〃 松戸東LC | 63名 |

上記を見ますと、銚子LCと佐原LCのメンバー数が飛びぬけて多い訳ですが、果して数拾名位が、クラブ運営上適当でしょうか？

## サマーキャンプの一日

（佐原ライオンズクラブ）

香取神宮昇殿、神子（巫女）の舞いを挙っての最高に礼をつくした参拝。異国文化に接した彼等は、莊厳・嚴肅な雰囲気を味わった事でしょう。

続いて地元（ジュニア・ハイスクール）佐原第五中学校の生徒による郷土芸能（佐原ばやし）の披露と交歓会。短い時間でしたが、友情あふれるご協力を下さった第五中学生に感謝いたします。お蔭様で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

8月7日 YE 来日学生27名（1名病欠）

ホスト家・YE O B・メンバー82名

・金銭アクト ¥192,400

・労力アクト 48時間



## Y E 学 生 L. 富 田 熊

（九十九里ライオンズクラブ）

今年もYEを迎えるました。L.古川義一さんがホストファミリーで、カリフォルニアから来ました Emyle Piukus さんです。東京見物、横浜・鎌倉等あちこちL.古川さんが連れて行ってくれました。辞書を片手に大変苦労したようです。御苦労様でした。





豊かさに質と心を

# YE活動

## サマーキャンプで 文化のちがいを学ぶ

国際協調・YE・LCIF委員長

L. 増田五十吉

(館山北ライオンズクラブ)

本年度のYEサマーキャンプは、旭LCをホストクラブとし、佐原LC及び他の多くの人々のご協力とご理解を得まして、無事終了することができました。

企画された多彩なプログラムは、メンバー各位のYE活動に対する情熱と献身的奉仕により、成功裡に運営されました。帰国したYE学生には、在日中の数多い想い出の中で、サマーキャンプの印象が最も強烈で、心の奥深くに終生忘れることの出来ない想い出となつたそうです。またこの行事に参加されたホストファミリー及びライオンズクラブの皆様には、二泊三日の短い日数ではありましたが、来日学生と起居を共にし、彼等の日常生活、集団生活への協調性、道徳感、人種への偏見等を充分に感じたことと思います。また感情の表現も含めて、肌で感じられたにちがいない。私どもには未だ理解に苦しむ数多くの事柄もありますが、今後のYE活動を推進する上で、大変有意義に過ごせたサマーキャンプの真の価値が実感として感じられました。





豊かさに質と心を

# 1986年 夏期来日 YE生サマーキャンプ

## L. 金 島 武 雄

(旭ライオンズクラブ)

夏期、来日のYE生のサマーキャンプが8月5, 6, 7の3日間、太平洋を一望に見る九十九里海岸旭荘で開催され、旭LCがホストクラブとしてお手伝いする機会を与えられました事は、会長就任後間もない私が、クラブメンバーの結束を更に固める上で幸いがありました。

初日は開会式に先立ち、YE生に対し、複合地区YE委員長 林隆而より徹底したオリエンテーションがなされ、彼等の真剣な眼差しに心を打たれました。発会式は旭市長 八木金二郎氏、地区ガバナー 平井勇L、前地区ガバナー 橋口一夫L外、キャビネット役員多数の御出席を得て、盛大に挙行された。夕食懇親会後、YE生達は互いに自由な時間の中で、夜遅くまで楽しい一時を過ごした。

2日目は多数のクラブメンバーと共に蓮沼ウォーターガーデンの水泳及び水遊びに興じたが、YEのOB生達と和やかに談笑するプールサイドの姿にも、国籍を超えた友愛の姿を見ることが出来た。当夜は早目に旭七夕祭カーニバルに参加するため、旭市銀座通りのクラブ本部に集合した。

襟の両側に夫々333-C地区YEと、旭ライオンズクラブの名を染めぬいた紅白の色も鮮やかな祭紹縫に、しづりの鉢巻きをキリッと締めたYE生達の姿は、沿道

の観衆からため息が洩れる程華麗であった。部落の若衆による太鼓の祭囃子に合せて、2台の御輿を男女別々に擔いでワッショ、ワッショと掛け声も勇ましく繰り出した姿は、このカーニバルの圧巻であった。だんだんと国際色を帯びた七夕祭がクライマックスに達し、日本の若人に溶け込んだYE生達の歓喜の祭典が深夜まで続いた。

最終の3日目は、佐原LCの御好意により香取神宮に昇殿参拝。巫女の舞・宝物殿の参觀、中学生による佐原ばやしの演奏などを見聞し、宗教を異にする日本での体験に、昨夜の歓楽とは違った厳粛な気持になって帰途についた。その後鹿島港・銚子半島を巡って午後4時頃旭荘に到着し、全日程を無事終了することが出来た。

お別れは、旭ライオンズクラブ全メンバーに見送られて、ホストファミリーと共に満足感と感謝の気持を満面に表し、手を振り別れを惜しみつつ帰路についた。この3日間YE生達と生活して、クラブメンバー共々、YE活動の重要性と将来性を認識する事が出来たのは価値ある体験であったと感謝している。最後に地区YE前委員長 江畑耕作Lの物心両面にわたる御支援と、増田YE委員長を始めとする地区YE委員の皆さんとの御指導に感謝を申し上げて、サマーキャンプの報告と致します。





豊かさに質と心を

# 体験と影響の回想

YE学生OB  
館山ライオンズクラブ スポンサー  
小山貴巳さん

私が第2回YE交換学生として、アメリカのベルリンハム市を訪れてから、早いもので十年たちました。然し、あの感激の1ヶ月間の出来事は、今でも強く心に残っております。

多感な高校生時代に素晴らしい体験が出来て、私は大変ラッキーだったと思います。世間知らずの高校生が言葉も不慣れな外国にホームステイするのですから、それは楽しいことばかりではありませんでした。自分の考えがうまく伝わらなくて困ったこと、日本人にありがちな遠慮をして後悔したこと、食事のことなど（私は歯が痛くなってとても苦しました。）然しながら英語が通じた時や、相手の言っている事が理解出来た時の喜び。心と心が結びついて友達が出来る楽しさは忘れることが出来ません。このことは、翌年以降ホームステイの受け入れファミリーとして学生を受け入れた時にも、大変役立ちました。やはり楽しい想い出ができました。

今あの頃を振り返ってみると、よく知っているようでは知らないアメリカ文化に実際に触れ、頭の中で考えていた「憧れ」的な気持ちが薄らいだり、嫌いな所が見えてしまったり、又うらやましく強く引かれた事もありました。そして結局心に一番強く残ったことは、マウント・ベーカーの美しい自然やキャンプでのいろんな事でもなく、「文化や風俗は違っていても、人と人の心はつながる」と言う事でした。そして別の目で見直した時の、日本の素晴らしさでした。

その頃、ちょうど進路選択で悩んでいた私が文化系に進路を決め、英語の教師として現在に至っているのには、この折の体験が大きな影響を及ぼしているのだと思いま

す。今回帰国した学生の方々は、おそらくあの頃の私達と同じように、しばらくはベルリンハムでの生活を夢に見たりなつかしんだりし、そしていつの間にか現実の日本社会に引き戻されて、普段と変わらない生活になっていくと思います。でも新しい体験は、直接今後の生活や進路に例えはっきりとは現われなくても、必らず何かの際にふと現われたり、想い出したりすることでしょう。その事を是非大切にしていって欲しいと思います。

最後に、私達にこの素晴らしいチャンスを与えて下さいましたライオンズクラブにお礼を申し上げると共に、この企画が末永く続くことをお願い申し上げます。

# ホームステイを終えて

船橋中央ライオンズクラブ スポンサー  
藤代倫子さん

今年の夏休みは、学生生活の内で最高のものだった。形に残るものではないが、自分の中に何か大きな世界が広がったような気がする。

「人の生き方」とか「文化」とか、普段軽い気持ちで使っている言葉の重みをずっしりと感じた。マスコミで知ることの出来る範囲を超えた、貴重な体験でした。

私はアメリカでも北部のインディアナ州のほぼ中心にある小さな町に滞在。北部は白人が比較的多いらしく、私の行った町でも、黒人や東洋人も殆んど見かけない、典型的なアメリカと言ったような町でした。だからアメリカ人の本当の姿を覗くことが出来たような気がするのです。人種の事では、やはり今でも黒人のことを良く思っていないし、或いは逆に卑下している部分も見られました。またライフスタイルでは自分達の今の生活に満足し、それ以上の欲は持たず、仕事に縛られることもなく、自由に解放的に暮らしている人々の多いところなど、アメリカ人らしさが感じられた。



豊かさに質と心を

今では少なくなったと聞いたが、毎日曜日に教会へ通い、神を信じ、バイブルを教本としての生き方を学ぶ真剣さも、大変印象的だった。

アメリカでも東洋人が比較的少ないこのあたりでは、日本の情報に乏しい。それもシカゴならまだしも、私のステイ先の町では日本人は1人も見ることがない位で、日本についての知識は殆んど皆無。現にステイ先の夫婦は、未だに日本人が日常着物を着ていると信じており、忍者がまだ居ると信じていた子供もいました。だがスーパーで見かける日本製品の多さには、誰もが疑問を抱いていた様子だった。一般的のアメリカ人と言うのは、そんな疑問を感じても、それ以上の追究は進んでしないようでした。アメリカと言う国は国土も広く、実質上日本が存在しなくとも自給自足が出来ると言うこと。然し日本は、アメリカ無しでは生きてゆけない。そんな必要性からも、日本は海外に目を向けざるを得ない関係になっているのでしょう。その点からもアメリカ人は、自由に、広い心で生きているのかも知れないと考えさせられました。

最近五大湖付近では、日本製の自動車の普及による貿易摩擦に伴い、日本に対する良くない感情が高まりつつあるのも忘れてはならないと思います。そんな情況を肌で感じ、日米間の政治問題の根の深さを、改めて異国で認識しました。

日本の実情に飢えているものの、この夏シカゴ美術館で行なわれた「東大寺展」では、21万人もの人を動員。予想もつかなかった程の、かなり高い関心に驚きました。情報の問題も、一方的に貿易の利益のみ考えず、人々に接したり、眞の情報を提供したりして、日本を良く知つてもらうアピールを絶えずすべきだと痛切に感じました。

短い夏休みに、アメリカのほんの一部を見たり体験したことを見まえて、これからも世界の多くの人々の生き方や考え方・文化などを知って、視野を広げていきたいと思っています。

## カナダより ダグラス・マックラックランさん E D - 14 船橋東ライオンズクラブ ホスト



6週間前にカナダから私は日本へ参りました。日本訪問の際、日本の文化と日本人について学ぶことを目的に、希望を持って来ました。

さて、日本へ行く準備をして家を離れる時、今回のY E生として日本をより深く理解する事と、新しい友達と友情を育んでいくことの幸せを大事にしたいと家族と話して出発しました。何でもすべて、言われた事は実行して来た私の6週間の滞在は、困難な骨の折れる日課でした。このように省略して書くことをお許し下さい。

両ホスト家族と共に、私は多くの短い旅行をしました。京都・東京・東京ディズニーランド他、色々な名所・旧跡などへも行き、また夜明けに富士山にも登りました。ライオンズクラブも又、私の為に有益で興味あるグループの行事を多く催して下さいました。

旭での2泊3日のサマー・キャンプは、大変印象に残る経験でした。グループ単位行事で、私達は他の国から来たY E生と会い、日本について語り、学び合うことも出来ました。またお蔭様で新しい友達が出来ました。多くはカナダY E生でしたが、他のいろんな国の人々とも会えてお友達になりました。異った文化を持つ国から来た学生のモンタージュは、すべて一緒に集って楽しむ事から始まり、何がY Eの眞の精神であるかを、ライオン



豊かさに質と心を

ズの青少年交換の事業がこの様な機会を与えて下さった事によって、すべて教えてくれたのではないだろうかと思う。私のスポンサーの南エドモントンライオンズクラブに先ず感謝し、333-C地区YE委員会及び船橋東ライオンズクラブのご好意と接待に心よりお礼申し上げます。

最後に私の両ホスト家庭に対して、特にお礼を申し上げます。日本へ出発する際に、自分の人生経験上、たった一度だけの旅行になるとあって来たのですが、それは間違いでした。又日本に来たいと心から思っているからです。お世話になった方々によろしくお伝え下さい。必ず近い将来、又日本に参ります。ありがとうございました。

## デンマークより

ニールス・ノールダールさん

D J - 14

柏ライオンズクラブ  
船橋中央ライオンズクラブ ホスト

先ず最初に、私は素晴らしい生活をさせていただいたホスト家庭にお礼を申し上げます。そして又この素晴らしい計画を実施して下さったライオンズクラブの皆様に、厚く御礼を申し上げます。

日本滞在中の私のスケジュールは大変でしたが、どの行事も意義のあるものばかりでした。美しい国、日本の印象は強烈でした。或ることで、私の為に学ぶべき事として心に残っています。「郷に入っては郷に従え」と言う諺通りに、私は日本人のする通りにまねするよう努力しました。例えば、食事の時は床に座ったり、食べる時には音を出していました。

日本人の多くの方から受けた質問は、「日本で最も素晴らしい事は？」でした。デンマークでは、人口が日本より少ないので犯罪が多く、全く少ない日本には驚いています。デンマークと日本の相違を聞かれて、忘れてしまいたいと思いましたが、真実です。こうした相違も含めて、強く私の脳裏に焼きついています。

最後にお世話になったすべての方々に、お礼を何度も何度も繰り返して言いたい気持で一杯です。どちらかの国で再会を願っています。ありがとうございました。

## ライオンズ用語

### ▶ 東洋・東南アジア フォーラム

国際協会は8つの地域(area)に分けられていおり、日本は東洋・東南アジア・フィリピン諸島及びブルネイ地域に含まれている。

東洋・東南アジア フォーラムは親善を深めることを主目的として、この地域内のライオンズ国(日本・中華民国・フィリピン・香港・マカオ・マレーシア・シンガポール・ブルネイ・韓国・タイ)のクラブの代表に依って開催され、この地域に共通の話題を話し合ってきたが、1972年6月の国際理事会において、このような地域フォーラム(area forum)が友好・親善・経験交換・ライオニズム高揚のための行事として認められた。ただしその決議はクラブあるいは会員を拘束できないと言う点で、地区大会・複合地区大会・国際大会と基本的に異なる。

東洋・東南アジア フォーラムはOSEALフォーラムと略されている。

### ▶ ライオネス(雌ライオン)

ライオネスクラブの会員をライオネスと言う。なお会員の夫人をライオンレディと言う。

### ▶ ライオネスクラブ

ライオンズクラブのスポンサー及び管理のもとに、そのライオネスクラブの理事会が適当と認める、地域中の成年の女性を以て組織される。

### ▶ レオクラブ

ライオンズクラブのスポンサー及び管理のもとに、スポンサー・ライオンズクラブのレオ委員会が適当と認めた青少年男女によって、クラブの所在する地域に組織され、青少年に指導力(Leadership)、経験(Experience)を与え、個性豊かな人間に成長させる為の奉仕活動を推進し、会員の間に友情・親善及び相互理解の精神を育成することを目的とする。毎月2回以上例会を開き、スポンサー・ライオンズクラブが適当と認めた額の会費を会員から徴収する。会員の標準最低年令は14才で、最高年令は複合地区ガバナー協議会が決定する。



豊かさに質と心を

# ACT報告

## レオ活動

### LEO研修会に参加して



キャビネット副幹事

L. 上山立男  
(館山ライオンズクラブ)

研修会の最終日に、ちょっとした出来事があった。海岸では地曳網の魚が四樽も入る大漁で終わり、バーベキューなど昼食の支度で大忙である。宿舎から食料を運び出していた時、私に「レオの女の子が転んで手首の上が腫れている。」と申し出て來たので、「誰か一人病院について行って貰いたい。」と頼むと、一瞬早く手を上げた黒シャツのレオと行くことになった。あの四、五名には、「心配ないから海岸に行き、みんなと食事をするよう」に言い残して、診療を受けた。待合室で、付添いのレオは君津クラブ員だと知った。班が分かれているとはいえ、大和室に女子が一緒だったので、怪我したのが富津のレオと知り意外でした。

幸いに骨に異常もなく、一時間位で宿舎の前を通過し海岸に着いた。レオ達は食事も終わり、泳いだりして、嬉々として遊んでいました。私達三人にはライオネスの方々が食事を出してくれましたが、突然黒シャツが駆け出し、あっと思う間に宿舎の方向に消えた。その時のことか全く解りません。暫くして四人のレオを連れて

戻った。事情を知らないライオンは、「どうして今頃まで食事もとらず、何処に行っていたのか。」と聞いていましたが、私は胸が熱くなりました。友を心配し、病院から帰るのをじっと宿舎で待っていたというのです。

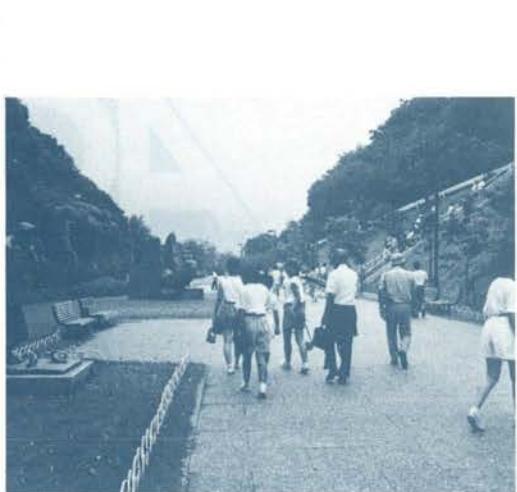
今回キャビネットとして、村松幹事とレオ担当の私が全日程に参加、勉強させていただきました。6Rはレオには全く無経験です。これまでの観念では、レオを持つと親クラブの出費も多く、また指導者など、何かむずかしいような気がしていました。且つキャビネットとしても、春夏の研修会で支出も多く、至れり尽くせりの手がかかるレオに対して、若干の疑問も心の隅にはありましたが、霧散しました。クラブを超越し、強い友情に結ばれたレオこそ、二十一世紀のライオン及びライオネスの立派な予備軍だと思います。この可愛い予備軍を今日まで育て上げた幾多の先輩ライオン並びに現委員長 L. 茂田正巳初め役員の皆様の御努力と御功績に対して、心から敬意を表わす次第です。

レオ 万歳



Bring Quality To Life

豊かさに質と心を



レオ活動 写真集



館山会場





豊かさに質と心を

# レオたちの感想文集

## 「よかったこと」

君津レオクラブ  
木戸出 和子

大きいねえちゃんや、年下の子たちとなかよくできて、おねえちゃんたちはやさしくしてくれました。たのしかったことは、キャンプファイヤーやじびきあみをしたときです。じびきあみは、エイやみたことのない魚がたくさんいたし、きれいな魚もいたからです。

## 「お願い」

富津レオクラブ  
石川 康明

ライオンズの方々にとてもお世話になって、ありがとうございました。ぜいたくを言うようだけども、少しレオを増やしてほしいです。短い文だけれども、これからもがんばってください。

## 「もっと日数があったら…」

富津レオクラブ  
春口 学

僕は富津レオクラブの会計をやらせてもらってる春口です。今年の研修は昨年とちがい。すこし静かな三日間だったと僕は感じました。市川レオの人達の姿が見えなく、すこしさびしいかなと言った様子でした。一日目の夜になんとか間にあって、中山さんが来てくれて本当に助かりました。特に夜、小さな子達の見張りにもいっしょに注意をしてくれたから、何とか昨年より静かに、しかも早くみんなねてくれました。二日目の夜は中山さんがつづりにより帰ってしまったどうなるかと思っていたけど、時間にして十分ぐらいオーバーしたけれど、みんな早くねてくれてよかったです。

毎年限られた日数(二泊三日)なので、あと一日か二日、なるべく多く研修日数をふやして欲しいです。この三日間本当にレオの為にどうもありがとうございました。

## 「みんな楽しかった」

君津レオクラブ  
岡村 公司

一番楽しかったことは、海でさかなをとったことと、海で泳いだことです。ぼくはさかなをつったことがないのですごくとれてとてもうれしかった。お屋がとても楽しかったです。海で泳いでたのしかったです。親からはなれてこんなに楽しかったのは初めてです。こんなに楽しいけんしゅう会をするには、大へんだったと思います。こんなに楽しいけんしゅう会をひらいてくれて、ありがとうございました。



## 「私の心」

君津レオクラブ  
幹事 鈴木 利恵

毎年夏になると、夏季研修会と言うのを開いて、333-C地区として集まり、みんなで楽しく学び・遊ぶ。とっても楽しい集まりです。研修会に参加すると、一人友達が出来る時があります。他のみんなもそうであって欲しいです。

今年の夏季研修会は、海の近くにある「第一なぎさガーデン」に泊りました。ここは、人があまりごみごみしていないので、あまり自然をよごしていないので、私はとっても気に入っています。

## 「楽しかった夏季研修会」

富津レオクラブ  
高梨 明美

私達レオクラブは三日間、館山海岸の館山第一ガーデンに於いて、楽しい研修会を行いました。君津レオクラブ・銚子レオクラブのお友達と久しぶりに会い、とてもうれしかった。

レオクラブの皆様とは、研修会でしかなかなか会うことがありませんので、いつも楽しみにしています。また海岸では、生れて初めて地曳網をし、みんなとおいしくいただきました。とてもすばらしかった。館山ライオンズクラブの皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。この楽しかった想い出は、いつまでも忘れません。次の研修会を心待ちにしています。

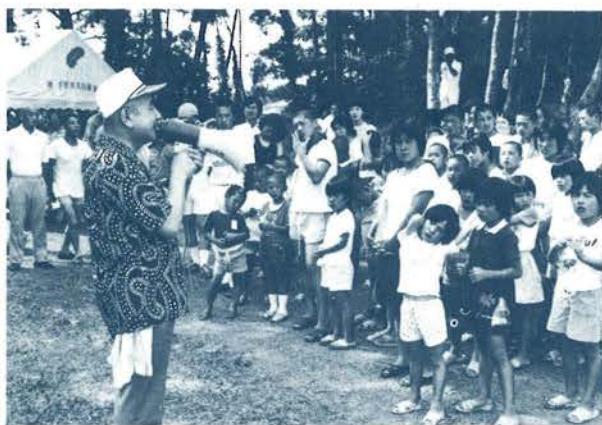




豊かさに質と心を

# 社会福祉法人 香取学園園児 一日横芝海の子供の国へ ご招待

## 佐原ライオンズクラブ



本年度継続アクトである香取学園園児の「海の子供の国」招待が、快晴で絶好の海水浴日和となった8月3日（日）に行なわれました。参加者は園児148名、職員・父兄・メンバー139名、残留園児10名（重障害の為）。

子供達にとって長く待ち望んでいた楽しい一日となっただ。不自由な身体にもめげず、せいいっぱい動き、走り回って、この夏の一日を満喫している姿、満足気な笑顔に思わず何か熱いものがこみあげて来ます。参加したライオンも精一杯慰問しましたが、逆に慰問された感じでした。自分達の境遇を考えると、大変恵まれた環境にあることを改めて痛感して、不満等は言えなくなりました。学園側や父兄からは大変感謝されました。翌日4日電話連絡の結果全員無事、体調変わらずとの返事に安堵でホッとした。

- ・金銭アクト ¥406,000
- ・労力アクト 315時間

## 「香取学園」より お礼の手紙

### 〈原文のまま記載〉

暑い日がつづきますが、その後ライオンズのみなさま方いかがお過ごしでしょうか。

先日は忙しい中を学園の子どもたちのために楽しい一日をプレゼントしていただき本当に、ありがとうございました。

ひやけした子どもたち一人一人のはだに、夏の思い出がいっぱいしみこんだと思われます。

最後におみやげまでいただき、子どもたちはたいへんよろこんでいました。

これからもお体に十分気を付けてがんばって下さい。

(保母 石毛 智子)



豊かさに質と心を

佐原ライオンズクラブの皆様方

先日はお忙しい中、楽しい一日を与えて頂き、心より感謝致しております。

子供達の夏休みの思い出として深く心に残ったことと思  
います。そんな子供達の気持ちを、お伝えしたく子供達  
の書きました。手紙を同封させて頂きました。

今後の皆様方の御健康と御活躍をお祈りします。  
どうもありがとうございました。

(指導員 飯籠 真弓)

佐原ライオンズクラブ様へ

今日は横芝海の子供の国に招待してくれてどうもありがとうございます。僕もとても喜びました。かき氷や、やきそばや、やきとりなどいっぱいおいしいごちそうをたべて満足でした。そのためこんな行事などがあるととてもしあわせのような気がします。これも天のさすかった喜びだと思います。

またそれからプールへはいっている内にこんどはおやつを用意をしてくれて出てきたときはもうかんげきでしたそれから去年金魚すくいがなかったけど、ことしはあったのでやったんだけど1びきしかつれませんでした。でもおじさんたちがもう2ひきくれたので3びきになったのでうれしくなりました。

学園にもって帰るのにおみやげができました。

帰る時1人1袋ずつジュースと文房具をもらえたのでよかったです。でもそんなにかいてもしょうがないのでおわりにします。

皆さん体に気をつけてください。ではサヨウナラ。

(S 61, 8, 3 阿部 昭男)

佐原ライオンズクラブ様へ

今年も1日海の家にしたいしてもらってどうもありがとうございました。昼食や、おやつをごちそうしてもらい、プールにも入り、本当に楽しかったです。それに、帰りにおみやげをもらいました。昼食でつくってくれたかき氷は、学園のおやつにでるかき氷よりもおいしかったです。それと金魚すくい楽しかったです。最初に五ひきつかまえて、六ひき目であみが切れてしまいました。

こんな楽しい1日でした。来年もまた、しょうたいして下さい。では体に気をつけて、がんばって下さい。さようなら

(中学1年 間瀬 洋一郎)

佐原ライオンズクラブの皆様へ

ふりそぐ陽差しもまぶしい8月3日、子供達を横芝子供の国に招待して下さり、どうもありがとうございました。広く楽しいプールでの水遊び、長いすべり台を風を切ってすべる面白さは東庄近くのプールでは経験できないものでした。また草の香を味わいながらの昼食、土をすぐ足の下に感じながらの語らいは一生忘れられないものとなつたに違いありません。子供達は普段外出を自由にできるわけではなく、海やプールでずっと遊べる事にあこがれるような気持ちを持っています。それがライオンズクラブの方々のおかげで実現される〜〜なんてありがたい事なのでしょう。園長先生のお話しによれば23年間も学園の子供の為に尽力されている方もいらっしゃるそうで、あんなに大勢の子供の満足気な笑顔に思わず胸が熱くなる瞬間もありました。小学1年から中学3年まで、初めての人がいれば、これで最後の人もいた筈です。それぞれの胸に今日の出来事は深く刻み込まれた、2度と来ないそれぞれの夏に~~~~~

佐原ライオンズクラブの皆様 どうぞお元気で。  
さようなら

(香取学園 松葉寮 多治見 るみ)

原文のまま記載いたしました。 外13通





豊かさに質と心を

# 野球王国の銚子っ子ら！

銚子ライオンズクラブ主催 少年秋季野球大会

野球は銚子！ 黒潮打ち寄せる男らしい自然環境の中での少年野球大会から、優れた逸材を数多く生み出している所以が、銚子市秋季少年野球大会にあった。ライオンズ大会を制覇してこそ、“眞の少年野球の覇者”と言われている位、この大会に大きな目標を持って春から努力を重ねて参加する。それだけに、実力伯仲の熱戦の連続となって盛り上がる。それ故に青少年育成の一環として、我がクラブも大いに協力して奉仕を惜しまない。お蔭様で本大会も第13回を終え、少年達にデッカイ夢をまた一つ贈ったことでクラブメンバーも喜んでいる。

地元の「大衆日報」紙は、8月24日から3日間の経過を逐次克明に記載報告している。



▲ 一行と記念撮影



▲ レオクラブの応援風景



▲ 優勝旗の授与

## 木更津市内中学校剣道大会協賛

木更津中央ライオンズクラブ

7月20日、市内各校から150名の参加を得て盛大に行われた。夏の暑い最中、室内とは言え道具を身につけての戦い、それだけで心構えは充分。いい汗をかいだ試合であった。

- ・金銭アクト 賞品・賞状等 ￥150,000
- ・労力アクト 15名 9時間 135時間





豊かさに質と心を

## 20周年記念 A C T 基金 チャリティゴルフ大会

木更津中央ライオンズクラブ

7月22日、20周年チャーターナイト式典 A C T 基金獲得のためのチャリティゴルフ大会が、鹿野山カントリークラブで悪天候の中、ブランザークラブをはじめ一般の方々の多数の参加をいただき、盛会裡に無事終了いたしました。数々のご協力ありがとうございました。



## 身障児への基金獲得 チャリティゴルフ大会

木更津ライオンズクラブ

9月8日、「身障児に愛の手を」 A C T 基金獲得のため、君津郡市内で第8回を迎えました。恒例となったこの大会も多くの人々に親しまれて、年々参加者が増え440数名の盛況でした。南総カントリークラブの会場へ、遠くは市原・千葉・東京方面からと多種多様の参加者の面々、その節は大変ありがとうございました。またブランザーカラブや郡市の皆様にも、本当にご協力心から感謝申し上げます。



## 愛のパトロール

富津ライオンズクラブ

7月24日景勝の地、富津公園キャンプ場周辺のパトロールの為に、毎年夏休みに入ると青少年多数が集まりキャンプが張られます。青少年健全育成の一環として、今年も継続して夜間の愛のパトロールを実施しました。

- ・金銭アクト ¥20,000 青少年相談員へ協賛金として
- ・労力アクト 36名 3時間 計108時間



## クリーン運動の実施

富津ライオンズクラブ

7月25日より31日まで、本格的海水浴シーズン到来にそなえて、全市挙げての「クリーン富津」を目指し、キャンペーンに協力した。乗用車に看板を取りつけて巡回、マイクで通行中の人や車の運転者へ呼びかけました。

- ・金銭アクト 放送装置・看板諸経費 ¥21,500
- ・労力アクト 37名 3時間 計112時間





豊かさに質と心を

## 青少年健全育成 スポーツ大会へ協力

木更津ライオンズクラブ

7月26日から3日間に亘り、木更津市内中学校より男子は野球に18校の参加、ミニバスケットに女子が17校、合計600名余の大会参加を得て、すさまじい熱戦が繰りひろげられた。この大会は「育てよう 心と体と思いやり」を合言葉に、真紅の獅子旗を争うもので、また参加者に大きな記念メダルも贈られて喜ばれました。青少年健全育成の発展と親睦・融和の趣旨が、十二分に發揮された大会となりました。

主催 木更津市青少年相談員連絡協議会

木更津市教育委員会

協賛 木更津ライオンズクラブ

- ・金銭アクト メダル代 ₩300,000
- ・労力アクト 20名 2時間 計40時間



## 夏の海浜救護班活動

九十九里ライオンズクラブ

毎年夏に親（スポンサー）クラブの東金LCと共に、海岸で海水浴客の事故防止や負傷者の救急治療奉仕活動を行っています。毎日曜日午前9時から午後3時まで、真夏の暑い中大変な作業です。

総延人数54名、延時間36時間、患者治療数114名という結果でした。

特に7月末の日曜日にはクラゲの大襲来があり、1時間の間に約50名の患者が殺到し、痛みで泣く子供やしづれて動けなくなる人などパニック状態となり、大混乱を起こしたので、ライオンズの名前で緊急遊泳禁止を警告し、海水浴客を全員陸上へ避難させました。

その他サーフボードで顔を怪我したり、肉が飛び出した患者等もありましたが、普段なれない仕事で悪戦苦闘の奉仕活動でした。



みの く り かい  
箕 九 里 会

九十九里ライオンズクラブ

山のない九十九里LCと、海のない長野県箕輪町の箕輪LCとが友好を温めています。春には私達九十九里LCが長野県へ例会訪問し、夏には箕輪LCが千葉県へ例会訪問と、友情を深めながらLC精神をお互に勉強し合っております。九十九里LCの10周年の記念事業として、姉妹クラブとしてのお付合いをしたいと考えています。



豊かさに質と心を

# わが愛する町。

## 鎌ヶ谷周辺の地名と開墾事業

L. 砂子坂 昇

(鎌ヶ谷ライオンズクラブ)

幕府瓦解で混乱の極にあった東京の治安維持と速やかな東京遷都の為、明治初年の殖産興業政策の一環として下総牧の開墾事業は始められ、旧江戸市中の無為無産の民に対する救民政策としての開墾会社が設立された。依って明治政府は二十万両を三井家に貸し下げて之を援助した。浮民失業武士を下総の牧に移す事は、時の政府要路にとって急務であり、特に旗本やそれに陪從する若党小者などは生活の場が全く無くなり、これら不平不満分子に依って何時暴動が起こるやも知れない状態であった。

下総牧開墾の事が決まると、直ちに遊民を対象とする入植者の募集が始められた。特に五陵郭にたてこもって遂に降った榎本武揚軍に参加した武士達は、入植を条件に罪を許されたので、之に多数参加した。食うに職なき人々にとっては、狸の棲み家の様な下総の牧野がバラ色の開墾地と映った事であろう。

入植者は先ず所事金があつて自前で賄える者を富民、金も持たず着たきり雀の者を力民と呼んで区別されたが、開墾地は結局東京の豪商達、即ち富民らに依つて適当に配分されてしまったのである。独立自営、自立更生を目的とした開墾事業は初めから暗雲の中に漂い、十軒が一つの長屋に入れられる等次第に家畜若しくは農奴的境涯に落ちて行かざるを得なかつた。現在も、一番の誰とか十番の誰さんとかの呼び名が残っている土地がある。

小金初富に開墾所の仮関所が置かれ、労働力確保のために逃亡防止策として八街に教責場を設けて、北海道炭鉱のタコ部屋の様な監獄の中で仕置きしたのであって、自由民権の思想は各地に芽吹き始めていたが、此処下総ではまだ春は遠かった。

さて徳川時代房総の地には、小金・佐倉・嶺岡の幕府直轄の牧野があつて、幕政華やかなりし時には、年間1,000頭から2,000頭の馬が競り売りされ、幕府財政を潤した。かつて平安時代、平将門が之等の牧場を支配し、下野・常陸・上総・下総を押領し得たのも、専ら此の牧場生産の馬を駆使する騎馬戦に長けていたからであろう。

小金牧は上野（かみの）・中野・下野（しもの）・高田・印西と5牧に分かれ、佐倉牧は内野（うちの）・高野（こうや）・柳沢・取香（とっこう）・小間子（あまご）・矢作（やはぎ）・油田（あぶらだ）と7牧に分かれ、今の東葛・印旛・香取・山武・千葉の地域にわたる

広大なものであった。

当時の開墾に当り、その内容を美名のもとにひた隠すかの様に大層縁起のよい名を付けたのであって、力民の入植の順序に依り一、二、三の新字名を付けた。先ず初富（はつとみ）、二和、三咲、豊四季、五香、六実、七栄（ななえ）、八街（やちまた）、九美上（くみあげ）、十倉（とくら）、十余一（とよいち）、十余二（とよふた）、十余三（とよみ）と名付けた。現在の鎌ヶ谷・松戸・柏・船橋・習志野・富里・佐倉・白井・成田・多古・八街である。開墾と平行して印旛沼開削が進められたが、之は印旛沼に堀割を作り通船の便を開いて、その便利に依って開墾を助け新田開発する筈であったが、昔享保9年また天明3年に時の老中田沼意次や天保14年水野忠邦に依り企てられた事業であったが、何れも失敗に帰したもので、当時の成果がどうなったか詳かでない。

大正末期から昭和6年に及ぶ農業不況の激しさは筆舌に絶するものであり、わが国の全耕地の7割が借金の担保に入ったと云うが、特にその恐慌では畑作地に於いて激しかった。下総牧開墾地の大半は畑作地であった為小作人の苦しみは容易ではなく、全国でもその熾烈さにおいて類のない小作争議が発生し、不況下に於ける小作料の減免さらに小作権の確立に、農政の中心課題として此の先永く闘わねばならなかつた。

農地解放が実施され、独立農民が自らの手で自らの土地を耕す事に成了るのは、太平洋戦争敗戦後の事である。

広大な土地所有者であった旧地主が没落し、新しく土地所有者になった小作人が、果して之等農地を保持し耕作し続けて行けるだろうか。後継者や嫁や経営の問題が山積する中で、土地開発の波に乗せられて之を手離してしまい、成り金の金満家となって悪錢を撒く身になった実例もあり、板の間に夜具一枚限りで筑波おろしの風のきびしい下総台地で、凍え死ぬかもしれぬ辛さに耐え、開墾の信念に燃えて頑張って生きぬいた入植者祖先にすまないと思う人が何人いるだろうか。

ともあれ、東葛・印旛・香取・千葉・山武にまたがる農民哀史は私達の胸をうつものがあり、初富から十余三に至る美しい字名に隠された富豪達の土地横奪の歴史であったとも思われる所以である。

(鎌ヶ谷教委史料より)



豊かさに質と心を

# わ|が|愛|す|る|町|

## 神崎ライオンズクラブ L. 石 原 清

### 1. わが町は歴史の古い町

縄文人が住んだという西之城に、縄文草創期の貝塚と住居跡があり、千葉県指定の史跡となっています。

昭和29年・38年の2回、早大の西村教授やほかの方の調査の結果、此の貝塚は我が国最古の淡水産のヤマトシジミを主体としていること、又住居跡は約8,400年前のものと推定され、注目を集めています。

### 2. 由緒の深いわが町

白鳳2年、常陸國河内郡と香取郡との境の大浦沼二ツ塚から遷座し、承平2年には国司から社領36町歩を寄進されたとあり、水戸黄門が参詣されたという社殿の脇のナンジャモンジャの古木は天然記念物に指定され、祭神の天鳥船命は交通安全の神として尊ばれています。神社をとりまく森は「神崎の森」として県文化財に、又「神



崎神社文書」13点は鎌倉時代のもので貴重なものです。

### 3. わが町は教育の町

江戸時代の末期、寺田酒蔵の当主に寺田憲という人物が居り、私財を投じて酒造蔵を改造し、漢籍1,000部を購入、私塾を開いて青年の教育をし、やがて明治に入るや義務教育令の発布と共に学問の大切さを説き、義務教育の普及に家業のかたわら精力的に活躍されました。今その精神が引継がれている事は、わが町の誇りと言えましょう。

## 光ライオンズクラブ認証状伝達式行う！



1月5日、333-C地区81番目の光LCの認証状伝達式が、光町町民館で晴天の中行われました。平井地区ガバナーはじめ、役員・ブロザークラブのメンバー多数の祝福を受けて無事伝達式は終了しました。

ここに新しい同志の城が出来たことをお慶び申し上げます。式典終了後、平井ガバナー一行は第7R第2ゾーンの公式訪問に出発。同日2会場を廻るスケジュールは大変であったと思う。御苦労さまでした。

一行を見送り懇親会場へ。橋口前地区ガバナーの音頭で乾杯、光LCの前途を祝す。各メンバー同志の交流を深め、会を閉じた。光LCはじめ各クラブのご発展を心からご祈念申し上げます。  
(昭和61年10月5日)

第4R PR情報委員 L. 宮川太三郎



豊かさに質と心を



## 次号の対談は 芹 洋子さんと L.平井 勇ガバナーです。 乞う ご期待！

俳優の石坂浩二氏が芸名を考えられた  
“いわく”など。美人で、しかも可愛  
いく、清純な歌手としてのコメントが  
いっぱい。

やはり歌はいつも「真心」で全て歌っ  
ています——。さらりと、当り前によ  
うにおっしゃっていました。中国へ第  
1番に行かれ、より立派になった芹さ  
ん。次号をお楽しみに！

### 〈物故会員〉

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

神崎LC 故L.日東寺 邦男（5月2日）

東金LC 故L.伊東政幸（5月3日）

千葉LC 故L.八代元吉（5月9日）

市原LC 故L.初芝正長（6月27日）

飯岡LC 故L.嶋田昭一（6月29日）

房州白浜LC 故L.吉田能徳（7月13日）

茂原長生LC 故L.緑川正治（7月20日）

千葉LC 故L.金村忠一（7月22日）

習志野LC 故L.臼田甚市郎（8月2日）

四街道LC 故L.飯島宗司（9月9日）

千葉中央LC 故L.細川清（9月23日）

千葉ポートLC 故L.鈴木栄助（10月2日）

下総中山LC 故L.青嶋七郎（10月22日）



Bring Quality To Life

豊かさに質と心を

## 編集後記

地区ニュースが“*We serve*”と改装し、寄稿者各位のご協力に依り1、2号を発刊する事が出来ました。

年6回発行する内、一応½を消化した訳ですが、従来の地区ニュースを一般社会の方々に愛読して頂く様、鋭意企画・立案を致して参りましたが、なかなか思う様に1、2号は参りませんでした。後続の各号に付きましては、PR情報委員及び編集委員の方々のご後援を頂き、なお一層の努力と新しいアイデアを駆使して、親しまれる“*We serve*”（地区ニュース）を作り上げるべく努力致したいと存じ居ります。

1号・2号をお読み頂いた皆様のご感想等を是非ともお寄せ下さる様、お待ち申し上げて居ります。

PR情報委員長 L.高尾競一  
(房州白浜LC)

1R PR情報委員 L.田邊誠二  
2R PR情報委員 L.平田 稔  
3R PR情報委員 L.中村新一郎  
4R PR情報委員 L.宮川太三郎  
5R PR情報委員 L.伊藤正章  
6R PR情報委員 L.磯貝豊司  
7R PR情報委員 L.及川精一  
地区ニュース L.杉山多男  
編集委員 L.青木芳政

昭和61年11月15日印刷  
昭和61年11月20日発行

発行所・千葉市問屋町1番地55号 シーオービル6F  
ライオンズ国際協会333-C地区  
キャビネット事務局

印刷所・館山市北条2645番地  
大和印刷有限会社  
TEL 0470(22)0405

